

【広島市の消費者物価指数】平成22年=100

1 平成28年4月の動向

- (1) **総合指数**(103.9)は前月比で2か月連続の上昇。
前年同月比は**34か月連続の上昇**。
- (2) **生鮮食品を除く総合指数**(103.3)は前月比で2か月連続の上昇。
前年同月比は**34か月連続の上昇**。
- (3) **食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数**(101.7)は前月比で2か月連続の上昇。
前年同月比は**31か月連続の上昇**。

図1 総合指数の推移

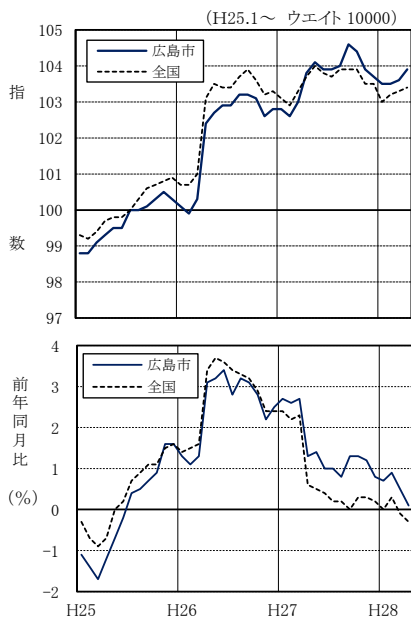


図2 生鮮食品を除く総合指数の推移

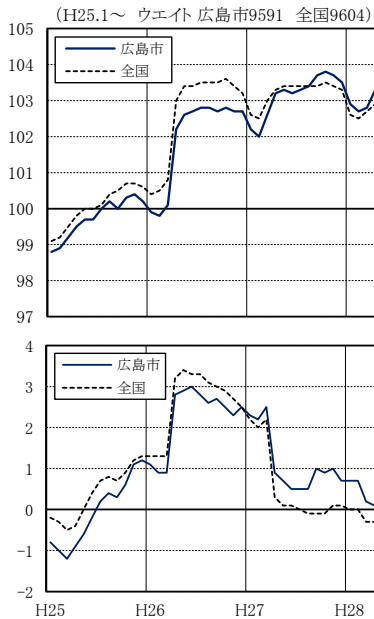
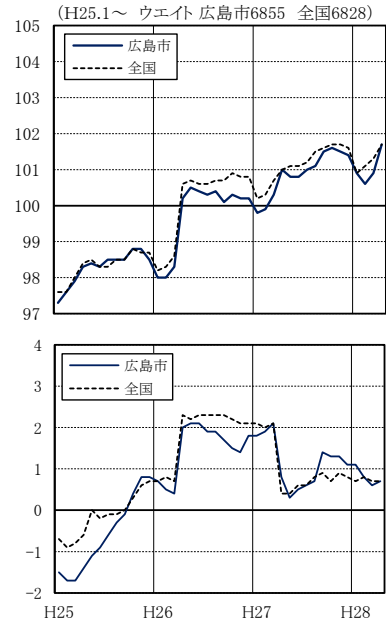


図3 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数の推移



2 総合指数, 生鮮食品を除く総合指数, 食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	103.9	0.3	0.1
生鮮食品を除く総合指数	103.3	0.5	0.1
食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数	101.7	0.7	0.7

3 前月からの動き

～家具・家事用品は上昇，食料は下落。～

(1) 10大費目指数の前月比及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	103.9	110.6	99.1	105.1	98.5	110.3	101.2	100.3	101.8	98.9	110.0
前月比 (%)	0.3	▲0.5	0.1	▲0.9	7.7	2.2	0.5	0.0	2.3	0.1	0.6
寄与度	0.3	▲0.13	0.01	▲0.07	0.27	0.10	0.02	▲0.01	0.07	0.01	0.04

(注) 寄与度: 物価全体(総合)の上昇(下落)に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。
本来、寄与度の合計は、総合指数の前(年同)月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数の前月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
中分類 (主な品目)	寄与度	中分類 (主な品目)	寄与度
家庭用耐久財(ルームエアコン 等)	0.27	果物	▲0.11
シャツ・セーター類	0.08	魚介類	▲0.06
補習教育(補習教育[小学校] 等)	0.04	ガス代(プロパンガス 等)	▲0.04
教養娯楽用耐久財(テレビ 等)	0.04	教養娯楽サービス(ゴルフプレー料金 等)	▲0.04
他の諸雑費(傷害保険料)	0.03	菓子類(ケーキ 等)	▲0.03

4 前年同月との比較

～食料は上昇、光熱・水道及び交通・通信は下落。～

(1) 10 大費目の前年同月比及び寄与度

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.1	2.0	▲0.5	▲7.0	0.6	4.5	0.1	▲2.1	2.3	2.0	0.1
寄与度	0.1	0.53	▲0.09	▲0.57	0.02	0.20	0.00	▲0.29	0.07	0.21	0.01

(2) 総合指数の前年同月比に寄与した主な内訳

上 昇		下 落	
中分類 (主な品目)	寄与度	中分類 (主な品目)	寄与度
教養娯楽用耐久財(テレビ 等)	0.15	自動車等関係費(ガソリン 等)	▲0.29
菓子類(ビスケット 等)	0.11	ガス代(都市ガス代 等)	▲0.26
肉類(牛肉[輸入品] 等)	0.10	電気代(電気代)	▲0.25
外食(焼肉 等)	0.10	魚介類	▲0.11
果物(りんご[ふじ] 等)	0.09	他の光熱(灯油)	▲0.06

図4 総合指数の前年同月比及び10大費目別寄与度の推移

